

第31回

うつのみやこども賞だより

平成26年度10回

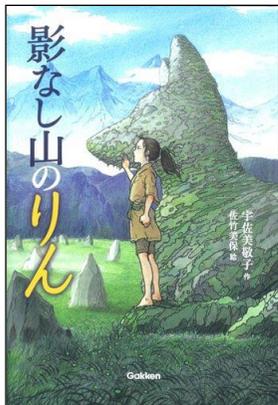
市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『影なし山のりん』

宇佐美敬子／著（学研教育出版）

～読んだ本の感想より～



- 10歳で母を助け、自分の村と他の村の歴史を変えてしまうような勇敢さがあった。
- 村を救うことと、母を救うことが関係してるとは思わなくて本の内容がおもしろかったです。あと、優しい人の方が力の強い人より強いことがわかったところもよかったです。
- さがしかたがなるほどな一と思いました。
- りんが言った、影なし山の名の意味に「なるほど！」と納得した。
- 本を読んでいると私もりんと走っているような気持ちになりました。影なし山も影なし山も神様が守

ているのが、すごいと思った。

- きつね岩の秘密もわかっておもしろかったです。

『鳥海山の空の上から』

三輪裕子／著（小峰書店）

- お波さんの願いをかなえられてよかったです。最初はお波さんがいやだった翔太がどんどんこの家にいたいと思っていくのがよかったしおもしろかった。
- ユリアの言葉が日本語と英語がまじっていておもしろかった。
- 家族っていいなと思った。
- ここまで強く固い絆があると尊敬の念が出てくる位すごいなと思えてくる。こんなコンビが僕も欲しいなと思った。
- 鳥海山にぼくも登ってみたいくなりました。
- お波さんからの最後の手紙は心に残りました。

『ぼくの、ひかり色の絵の具』

西村すぐり／著（ポプラ社）

- ユクが絵を通して多くの人とかかわりあうところがおもしろかった。
- ガウディ先生みたいな先生が私の担任の先生だったらなあと思った。
- 「透明水彩」を使ってみてみたいなと思いました。色の分かれ目が目だってしまう「にじ」を私は分かれ目が目だたないように描いてみたいです。
- ひかり色のように私も自分の好きな色をさがしたいです。自分のやりたいことがあるのはいいことだと思いました。
- ユクの描いた絵には命があるなと思いました。

『ダッシュ！』

村上しいこ／著（講談社）

- 真歩の、陸上にかかる思いが本を通して伝わってくる。
- 実際にもありそうな人物やその関係がおもしろかった。人物の心がゆれ動くシーンがグッときた。走っているシーンのしっそう感が良かった。
- 陸上を通して、みんなの友情が深まる場所がよかったです。
- 青春って感じがした。キラキラしてる中学生っていいなって思った。

2015年3月1日